

○ 指導事項の構成は具体的にはどのように変わったのか。

- 指導事項については、学習過程がわかるように内容が構成され、「読むこと」の一部を除いて、指導事項の項目が小学校と揃えられている。これは、学習の系統性を重視しているためである。

1 指導事項の新設等

(1) 話すこと・聞くこと

ア 取材についての指導事項を新設(1～3学年)

第1学年	日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること。
第2学年	社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理すること。
第3学年	社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。

イ 「資料や機器の効果的な活用」(2学年)

目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。

(2) 書くこと

- 構成についての指導事項を新設(1学年)

集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。

(3) 読むこと

ア 「場面や登場人物に注意した読み」(1～3学年)

第1学年	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。
第2学年	文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。
第3学年	文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。

イ 「論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと」(3学年)

論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと

2 その他

- 教材には、近代以降の代表的な作家の作品を取り上げることを規定。

我が国の言語文化に親しむことができるよう、近代以降の代表的な作家の作品を、いずれかの学年で取り上げること。